

育成 モノづくり人材

Vol. 35

千葉県立 千葉工業高校

今年創立80周年を迎えた千葉県立千葉工業高校は、千葉県内で最も歴史ある工業高校。鈴木賢二校長は「新し

い挑戦を続け、一步先に出るための教育に力を入れる」と語り、第一線で活躍できる人材育成を目指している。4月に大学進学に特

自ら学ぶ力を高める。2015年には文部科学省のスーパー・



鈴木校長

【DATA】 ▷校長=鈴木賢二氏 ▷所在地=千葉市中央区 ▷学科構成=〈全日制〉工業化学科、電子機械科、電気科、情報技術科、理数工学科、電気科 ▷総定員=1080人 ▷主要設備=マシニングセンター、レーザー加工機、溶接機、CAD、電子顕微鏡など ▷主な進路=JFEスチール、トヨタ自動車、JR東海、関電工、丸善石油化学、東レ、沢井製薬、千葉工業大、日本大、東京電機大など

進学や国際交流挑戦促す

化した「理数工学科」を新設した。これまで卒業後の進路は大学や専門学校への進学が3割に及ぶ一方、進学後を見据えたサポートが十分ではなかつたためだ。英語、数学、理科の授業時間数を増やすと、理工系大学で活躍するた

ロフエッショナル・ハイスクール（SPH）に選ばれた。専門的職業人の育成を目指し、地域や企業と連携し、先進的な取り組みを進められた。専門的職業人の育成を目指す中で「自分の考えを重視を置く。企業との交流を増やす」と鈴木校長は力を込める。

生徒の育成を目標に掲げた」と鈴木校長は力強く語る。

生徒が自ら内容や見せ方を考える幼稚園などへの出前授業は、生徒が自らの場を増やしている。み、内容や見せ方を自分で考える。生徒たちで考える。生徒校への「出前授業」も実施。自作したロボットなどを持ち込み、子供たちからも人気につながっている」という。

千葉県が進める「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉」の活動にも積極的だ。県内8校と企業、大学、自治体の約50団体で構成し、工業高校のあるべき姿を議論する。「変化する社会で求められる人材像」をこれからも模索し続ける。

（千葉・曾谷絵里子）
（金曜日に掲載）



り重要な」と考え、08年度からベトナムのハイ工業職業訓練短期大学と交換留学制度を開始。16年度からは台湾の国立東勢高級工業職業学校と姉妹校協定を結び、12月に生徒約20人が同校や現地企業を訪問する予定だ。

（千葉・曾谷絵里子）
（金曜日に掲載）